



亀山市立白川小学校だより

第36号

平成29年12月18日 (文責 川合)

～であい ふれあい そして未来へ～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成

あいさつとお礼の大切さ

白川小学校 5年 三谷惇熙

ぼくが通っている学校は、児童数が少なく、1年から6年まで学年関係なく遊ぶ機会がとても多いです。地域との交流がとて多いです。

例えば春には田植えや運動会、秋には稲刈り、冬にはもちつきなどの授業があります。どれも地域の方に手伝ってもらっています。

学校の中では、みんなの名前を覚えています。1年生から6年生までなかよし班があり、そのグループ活動を行っています。

みんなが、楽しく暮らしたり、犯罪をなくしたりするにはあいさつが大切だと思います。あいさつをすることで、気分がはれて今日も1日がんばろうという気分になったり、毎日が楽しくなったりするからです。

犯罪はあいさつをすることでへらせると 생각합니다。犯罪をしようと考えている一人にあいさつをすれば、犯罪をやめておこうという気持ちになるかもしれないからです。

そうしたら明るく、楽しい町にもなるし、その人もしなくてよかったと思うからです。

あいさつをすると、犯罪をへらせるとみんなしてほしいと思ったし、自分でしなくちゃいけないと思いました。

すれちがった人に自分からあいさつやお礼をしていきたいです。

物をひろったり、何かを手伝ったりしても「ありがとう」と言われなかったらひろわなくてよかったかなと思うからです。

ぼくが、つくえから落ちた物を拾った時、「ありがとう」と言われてうれしかったから、自分も助けてもらったなら「ありがとう」と言わなければいけないなと思いました。

ありがとうという言葉をつやすには、ふだんからの気づかいが大切だと思いました。

いつも落ちたえんぴつや消しゴムなどをひろっている子がいるとみんながまねして広まるといいなあと考えたし、いっぱいやっている子はあらためてすてきなあとおもいました。そうすることで、交流が多くなり友だちも多くなったらいいなあと思いました。

大きな学校では一人ひとりの話す機会が少なく、交流があまりないので、ぼくも中学校に行ったら人数が多くなるので思いやりを大切に友だちをつくっていききたいなあと思いました。

都会では、自分は自分、人は人という教えになっていると思うので大きな学校で人がいっぱいいることを理由にあいさつをしないのはいけないなあと思いました。自分からあいさつやお礼をはずかしがらずしていきたいです。ただするだけでなく、目を見て気持ちを込めて相手に聞こえるようにしていきたいです。

ぼくは、今あいさつをしてなれておくことで、大人になっていつか役立つと信じています。人がいるところに行って挨拶ができた時、あの時しておいてよかったと思う日が来ると思っています。

大人になって、いろんな町が、あいさつやお礼であふれていたらうれしいです。これを信じてこれからもあいさつをつづけていきたいと思いました。

12月9日(土)に、『社会を明るくする運動作文コンテスト』で入賞した、5年生の三谷惇熙さんの作文です。
受賞おめでとう。

おうちの方の了解をいただき掲載させてもらいました。
あいさつやお礼は大切ですね。訪問する人にとって、笑顔であいさつされるかどうかでその雰囲気は予想されるといわれます。じろっとみられると足がすくみますね。
あいさつやお礼、そしてあやまりがあったら『ごめんなさいが』言えるようにこれからもしていきましょう。

平成29年度
社会を明るくする運動作文コンテスト表彰式



教室拝見

九九の学習がんばっています。2年生

2年生の学習をのぞいてみると、九九が言えるか先生の前でチェックを受けていました。8の段9の段になるほどむずかしくなっていて、まちがえることも……

九九は算数の学習の基本です。

何回も声に出して言ってみて確実に覚えてほしいですね。

先生からカードにシールがもらえるといいですね。がんばってください。



字をていねいに書いています。1年生

1年生の教室をのぞいてみると、ノートに字をていねいに書いていました。

1年生の時に、字の書き方を覚えてていねいに書くことを身につけてほしいです。

先生にみてもらって、たくさん〇をふってもらえるようにがんばってほしいです。



さつまいも おいしかったね

1年生の佐野漣さんのお家からさつまいもをいただいたのですが、やきいもにするには大きかったので、校長室に置いておきました。今日、ふかしイモにしていただきました。

「おいしい」「あまいなあ」という声が聞こえてきました。

寒い時に、体も心も温まりました。

6年生は冷たい思いをして、いも洗いをしてくれました。感謝。

